

## ご案内

私たちは、産業界の健全な発展と、  
働くすべての人々の豊かな  
働き方・生活づくりを支えます。



The Ohara Memorial  
Institute for Science of Labour

公益財団法人

# 大原記念労働科学研究所

The Ohara Memorial Institute for Science of Labour

<http://www.isl.or.jp/>

## 労働科学研究所とは

1921年7月1日、(公財)大原記念労働科学研究所は倉敷紡績社長・大原孫三郎により、大原社会問題研究所の一員であった暉峻義等を迎えて、女性労働者たちの労働生活環境改善を目的として設立されました。

「労働科学」は、暉峻義等の命名により、医学と心理学を主要な方法とする労働及び生活に関する総合的研究領域の呼称として、J. Joteyko の著書名“The Science of Labour and Its Organization”に因ってつけられています。

設立時は倉敷労働科学研究所として倉敷紡績(株)の工場内にありました。1937年に(財)日本学術振興会に寄託され、(財)労働科学研究所と名称を変更し東京へ移転しました。その後、1971年に東京都世田谷区から神奈川県川崎市に移転し、2012年には内閣府に認定された公益財団法人へ移行した後、2015年に(公財)大原記念労働科学研究所として再び東京に移転して、時代の進展に呼応する形で研究領域を拡大しながら現在に至っています。

研究の特徴は、①現場で働く人々のデータ収集を基本とする調査研究、②複数分野の研究者による学際的研究、③問題解決を目指した実践的・具体的研究にあります。

理事長 濱野 潤  
所 長 酒井一博 副所長 北島洋樹

## 事業内容

### ■ 研究・調査

働きやすく安全で健康な職場、労働生活の質の向上を目標に学際的な調査研究を行っています。また、産業界のニーズに応えるべく、産業安全保健の問題解決のために、現場調査、実験研究、面接・質問紙調査等の手法を用いた受託調査研究を行っています。

### ■ 講演

企業・団体での産業安全保健向上のための講演、及び独自のセミナー等を活発に行っています。

### ■ 教育・人材育成

産業界との連携の下、自立した調査研究活動とともに、人材育成事業を行っています。労研が橋渡しして、大学等における産業安全保健教育への取り組みも行っています。

### ■ 会員組織(維持会と呼称)の運営

労働科学研究所を維持するための企業・団体・個人からなる会員組織を維持会として運営。最新の話題を提供するセミナーへの無料参加や普及誌「労働の科学」の無料配布等の特典を設けています。

### ■ 出版物の刊行

学術誌や普及誌の他、多領域にわたる単行本を発行しています。

# 研究グループ別 受託調査・研究・研修概要

(公財)大原記念労働科学研究所は、研究と人材育成活動を強化します。研究所では、多様な労働力のもと、安全で健康な産業社会へ向け、働き方・休み方の刷新に3研究グループと4研究センターの活動で寄与します。

## ■ システム安全研究グループ

ヒューマンファクター研究 / 産業事故や各種トラブルの調査・対策の立案、組織の安全文化評価(SCAT)、さらに安全教育・研修等を行っています。

## ■ 疲労・労働生活研究グループ

夜勤・交代勤務調査・対策・教育(シフトワーク・チャレンジ) 睡眠・疲労評価や健康調査等を行っています。

## ■ 人間工学研究グループ

各種デバイスの人間工学的評価と対策 / 運転労働調査・対策 / 製品評価 / 高齢者・若年・障がい者特性の調査 / 労働環境 / 温熱 / 狭所作業調査等を行っています。

このように、社会のニーズに応じ、逐次、新しいテーマに取り組みます。

## ■ 国際協力センター

ILO等の国際機関との連携・研修等、海外の大学や研究機関等との人材交流、情報交換等を行っています。

## ■ 慢性疲労研究センター

慢性疲労の研究・対策 / 疲労カウンセリング / 過労死防止対策等を行っています。

## ■ エルゴノミクス研究センター

製品評価(REAL)、職場評価及び改善提案等を行っています。

## ■ メンタルヘルス研究センター

メンタルヘルス担当者スキルアップコース / メンタルヘルスに役立つ職場ドック等を行っています。



# 受託調査・研究実績概要

- 安全文化の醸成に関する質問紙調査(SCAT)の実施(組織内・組織間)
- 安全文化向上のための実践調査・対策立案
- 負担軽減のための様々な作業に関する人間工学的評価
- オフィス作業環境の人間工学的評価
- オフィスにおける座り作業と立ち作業に関する研究
- 中高年労働者の身体機能に関する実証的研究
- 眠気表情値の実践的評価
- 行動の予測に関する実証的研究
- 自動車運転中の心理状態に関する研究
- 熱中症予防アルゴリズム開発に関する研究
- 介護労働者の労働負担軽減と軽度要介護者の自立支援に関する調査研究
- ストレスチェックとメンタルヘルス研究
- メンタルヘルスに役立つ職場ドック
- 飲食店の安全衛生活動への自主対応を促進するサポート技術の開発とその展開方法に関する研究
- 医療分野の勤務環境改善マネジメントシステムに基づく調査
- ヒューマンファクター、安全管理システムに関する研修
- 「職場ドック」推進リーダー養成研修
- 人間工学に基づいた安全トレーニング研修
- 交代勤務者のための「シフトワーク・チャレンジ」出前講習
- 事業用車両の安全運行に関するセミナー
- 健康起因事故防止に関する講習

## ■ 受託調査・研究費用

### 直接経費

機器類	使用機器の補修、調整、償却のため、使用区分と使用日数に応じて算出
消耗品費	使用薬品、その他消耗品等の実費
印刷費	報告書、調査票、集計票等の印刷費
旅費・日当	調査・研究・考査及び報告書作成に従事する者の旅費・日当
人件費	研究所長・主管研究員、研究部長・研究主幹、主任研究員・医師、研究員のランク別に、1日につき150,000円～80,000円

### 間接経費

直接経費総額に対して15%～10%

# 研修・講演内容（例）

- 安全文化評価ツール(SCAT)の方法と効果
- ヒューマンエラー事例の分析・実習
- ヒューマンエラー防止のための研修
- 産業事故発生のプロセス解明と組織評価
- 安全管理とコンプライアンス
- 現場に役立つ産業心理学
- 働く人の睡眠・疲労
- 働きやすい夜勤・交代勤務
- メンタルヘルスの職場対策
- あなたの職場で使える「職場ドック」
- メンタルヘルスに役立つ職場ドック
- 眠気表情評定の基礎と応用
- パソコン作業を快適に
- 運転安全と運転者の健康
- 安全運行をサポートする
- 産業安全保健の国際動向



## 講演料

### 講師派遣規定（3時間講演）

対象	講師	講演料
維持会員	主任研究員以上	10～15万円
	研究員	5～10万円
一般	主任研究員以上	20～30万円
	研究員	8～15万円

※宿泊費・交通費別途



# 出版物

## 学術誌

### 労働科学



隔月誌

1924年に創刊。安全・健康・環境に関わる労働科学研究のための我が国唯一の学術専門誌として、国内外の学者・研究者に活用されています。

定価1,500円(年ぎめ8,000円)

## 普及誌

### 労働の科学



月刊誌

1946年の創刊以来、産業安全・産業保健・職場環境をテーマとする労働科学をバックボーンとして、充実した特集記事、多彩な連載を中心に、働く人々の豊かな労働生活を支える情報を提供しています。

定価1,200円(年ぎめ12,000円)

## 新刊・単行本

### 産業安全保健ハンドブック



編集委員 小木和孝（代表）

圓藤吟史・大久保利晃・岸玲子・河野啓子  
酒井一博・櫻井治彦・名古屋俊士・山田誠二

A4判函入り・1,332頁・カラー版・DVD-ROM付  
定価50,000円+税

### シフトワーク・チャレンジ 夜勤・交代勤務 検定テキスト



[普及版]

企画委員 佐々木司（代表編集）  
松元俊・酒井一博・松田文子

B5判・112頁  
定価1,000円+税

### メンタルヘルスに役立つ職場ドック



吉川徹・小木和孝 編

A4判・70頁・全頁カラー  
定価1,000円+税

### 人間工学チェックポイント 第2版



ILO（国際労働事務局）編集  
IEA（国際人間工学会）協力  
小木和孝 訳

A4判・338頁・カラー版  
定価2,500円+税

### これのできる参加型職場環境改善



T.T.カイ・川上剛・小木和孝 著

吉川悦子・小木和孝・仲尾豊樹・辻裏佳子  
吉川徹 訳

B5判・132頁  
定価1,200円+税

## 持会・サービスのご案内

研究所の設立目的と事業に理解とご協力・ご支  
いる企業・団体や個人からなる会員組織（維持  
ています。会員には、月刊誌『労働の科学』の配  
への参加、医事相談、社内研修の依頼、委託によ  
、指導・相談の利用などの特典があります。

### ナー

ーでは、人事・労務・安全衛生・職場改善に  
報・データを会員に提供しています。とくに、  
人間工学的改善、安全システム、エラー防止、メ  
ンス予防、勤務制改善などの最新研究を応用し  
点を置いています。

### ービス

によって、以下の特典・サービスが利用できます。

科学』

科学』

割引

加  
ホームページ閲覧

ィング

員：1口6万円以上

口24万円以上

口3万円以上

### 案内

維持会)の趣旨をご理解頂き、ご加入を希望さ  
所ホームページより「入会申込書」をダウン  
、お申込下さい。

[www.isl.or.jp/service/ijikai.html](http://www.isl.or.jp/service/ijikai.html)

## 労研事業

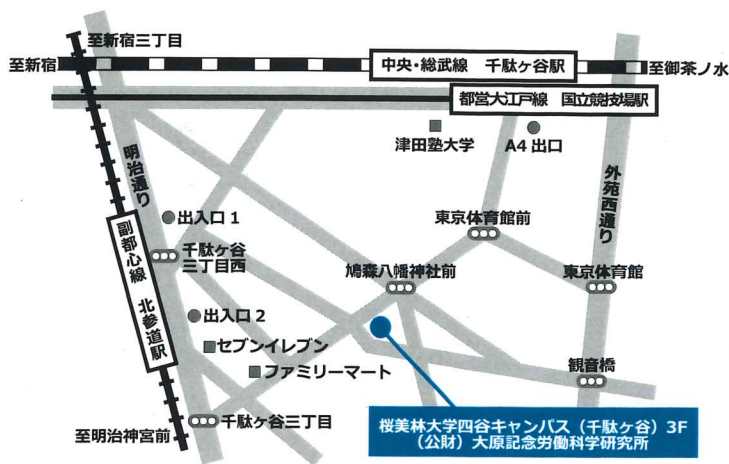
ポーター協議会

起因事故の効果的な防止、プロドライバーの労  
という目的に賛同した多方面の方々の方の志によ  
11月28日に発足。現在、労働科学研究所の事  
業。(http://ansapo.org)

開発、運行・労務・健康管理の一元化)

策定・現場の人材育成・インフラ整備等)

## 交通アクセス



### 電車

JR中央・総武線「千駄ヶ谷駅」より徒歩6分

東京メトロ副都心線「北参道駅」2番出口より徒歩5分

都営地下鉄大江戸線「国立競技場駅」より徒歩5分

### 車

首都高速4号線「代々木」  
もしくは「外苑」出口より、  
いずれも10分以内。

駐車場はございません。  
近くにコインパーキング  
が数カ所ありますので、そ  
ちらをご利用下さい。



## お問合せ

公益財団法人大原記念労働科学研究所

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷1-1-12 桜美林大学内3F

TEL: 03-6447-1330

FAX: 03-6447-1436

研究部 TEL: 03-6447-1331

維持会・出版 TEL: 03-6447-1435

E-mail: [isl.info@isl.or.jp](mailto:isl.info@isl.or.jp)

